



© Keijiro Suga

#### 発表者

赤坂友昭 (写真家)

片桐功敦 (華道家)

木村友祐 (小説家)

佐川光晴 (小説家)

佐々木愛 (美術家)

高山明 (演出家、Port B)

#### ディスカッサント

石倉敏明 (芸術人類学者、秋田公立美術大学)

#### 総合司会

管啓次郎 (比較文学者、明治大学)

橋本雅也 (彫刻家)

服部文祥 (サバイバル登山家)

瀬瀬あや (映画監督)

古川日出男 (小説家)

分藤大翼 (映像人類学者、信州大学)

山口未花子 (文化人類学者、岐阜大学)

波戸岡景太 (アメリカ文学者、明治大学)

2011年3月11日以降の事態は、われわれに「命とは何か、生活とは何か」という根源的な問いを改めてつきつけてきました。現在を、そして未来を、われわれヒトはどう生きるのか。ヒト社会のみならず、すべての命に、今後どう関わるのか。

動物たちが身をささげてくれたおかげで、ヒトはヒトになった。14名のアーティストおよび研究者による、「動物のいのち」をめぐる徹底討論です。

## シンポジウム

# 動物のいのち

2014年

11月29日(土)

10:00～17:00

第1部 〈動物のいのち〉をめぐる連続プレゼンテーション

第2部 〈動物のいのち〉をめぐるタウン・ミーティング

明治大学中野キャンパス

5階ホール (JR中野駅より徒歩8分)

入場無料・予約不要

主催 = 明治大学理工学研究科 新領域創造専攻

共催 = 明治大学 野生の科学研究所

協力 = 「すばる」(集英社)

連絡先 = 明治大学理工学部 批評理論研究室 管啓次郎 (044-934-7275)